

人材不足問題

5月19日付けの中国人民政治協商会議上海委員会の記事によると、現在上海市では施設で4万人、在宅で2万人のヘルパーが働いていると言われています。

「9073政策」を背

景に、デイサービスや老人ホームなどの高齢者施設数は増加し、市内の床数は前年比9100床増の13万2800床と、年々急増しています。しかし、ベッド数に対し、ヘルパー数がかなり不足しています。

現在働いているヘルパーの大半は農村部などの地方出身者で、全体の約40%が小卒もしくはそれ以下で字が読めない人、

約46%が中卒、残りの約14%が高卒もしくは短大卒だそうです。ヘルパーの90%以上が女性で、そのうち約55%が46歳以上、約14%が56歳以上と高齢ヘルパーが目立ちます。

また資格取得状況を見ると、約80%が60時間程度で取得できる見習い、約2%が初級と言われる5級取得者、中級や高級と言われる4級・3級取得者はほとんどいません。

ちなみに当校では2013年から2016年の4年間で1892人のヘルパーが卒業しました。見習いから4級までのヘルパーが誕生しました

ヘルパーの育成追いつかず

が、中高級ヘルパーは今のところゼロです。一定水準にレベルが達せず、受験志願者は1人もいませんでした。とはいえず、ヘルパー数が不足している上海市では、政府が後押ししています。

まず研修の受講料は助成金により半額免除、そして中には前述通り、読み書きの出来ない受講生も当然いるため、政府職員が横について手厚いフォローを実施し、安心して受講出来るようにしています。しかしながら、長時間勤務(隔日24時間勤務あ



中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～

ゲストハウス総経理

稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。



り)による重労働の割には低賃金で、また人間関係の難しさや社会的地位の低さからなる過酷な労働環境によって、なり手も少なく離職率も高まっています。介護経験の蓄積や技術向上がなかなかされない厳しい状況です。